

# エヌティーツール株式会社

愛知県高浜市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

## 切削工具と工作機械の間を精密に繋ぐ「高品質ツールホルダ」をジャストインタイムで顧客に届ける

- 産学官による研究開発を通じて、小径加工における工具寿命を3倍以上に伸長
- 自前主義からの脱却。ドイツ企業との技術提携など外部リソースを積極的に活用
- 顧客に迷惑をかけない - 自然災害にも強い製品供給体制網を構築

### 企業基本情報

所在地	愛知県高浜市芳川町 1-7-10
電話/FAX	0566-54-0103/0566-54-0111
URL	http://www.nttool.com/
代表者	代表取締役社長 内藤 祐嗣
設立	1976年
資本金	3,000万円
従業員数	251人



### 会社概要

同社は、1976年に創業し、切削工具を工作機械に取り付けるためのアダプターの役割を持つ機械工具「工作機械用ツールホルダ」を製造。ツールホルダは、高精度な機械加工の加工精度の良し悪しを左右する非常に重要な役割を担っており、同社ではツールホルダをさらに高精度化するため、知の拠点あいち重点研究プロジェクト（I期）に参画し、小径加工における工具寿命の伸長に取り組み、日々技術力向上や市場で勝てる強い製品群の拡充に取り組んでいる。

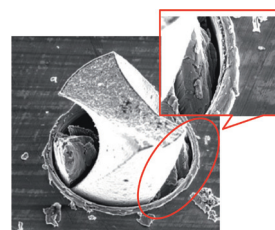


会社外観

### 革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

#### 産学官連携によるプロジェクトで微細加工技術の研究開発を実施

愛知県内の大学や企業と連携し、愛知県が実施する「知の拠点あいち重点研究プロジェクト（I期）」に参画。従来の小径工具を用いた機械加工では、加工中に工具折損が頻発し、工具費用コストや、加工不良ロスが増大するユーザー側の課題があった。そこでこれらの課題を解決するため、本研究を通じ、切り屑生成及び工具折損挙動を解明し、微細加工における工具折損寿命を3倍以上に伸長させることに成功。「工具折損が起りにくくなるツールホルダ」を開発、新たな付加価値の向上を実現している。



加工中に折損したドリルと穴入口近の様子

#### オープンイノベーションや海外企業との技術提携により迅速な技術高度化を目指す

同社は、1990年以降、ドイツ企業との技術提携を積極的に進め、新製品開発を加速させてきた。1994年には、工作機械とツールホルダの取り付け方法に新機構を採用することで、ツールホルダの把持力を飛躍的に高めた国内初・業界初となる「2面拘束ホルダ（HSKホルダ）」を商品化し、ツールホルダのリーディング企業として全国的に知名度を高めている。



2面拘束機構を採用したツールホルダ

自前主義から脱却し、外部経営資源を活用することで迅速な技術経営を実践している。

#### BCPで自然災害時でも顧客に製品供給できる体制を整備

同社は、地震、洪水などの自然災害や電力不足など、不測の事態に備えて、リスク分散にも取り組んでいる。具体的には、日本国内に2箇所、タイ・インドネシアに1箇所ずつ同一規模の生産拠点を設け、どの工場でもすべての製品を製造できる体制を構築している。図面等の重要データは国内3箇所とタイにてバックアップデータを保存している。

製品開発においても、企画・提案段階から顧客とのつながりを密にし、多様化・高度化する顧客ニーズに耳を傾けるなど、顧客第一としたものづくりを実践している。



BCPによる供給体制を構築